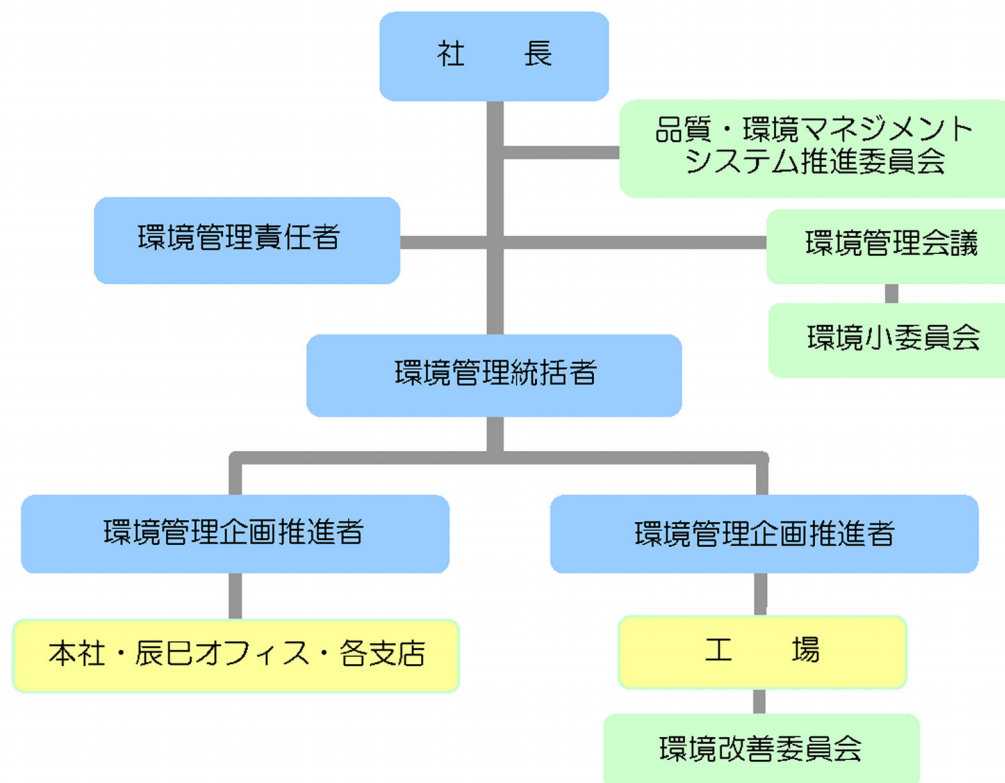
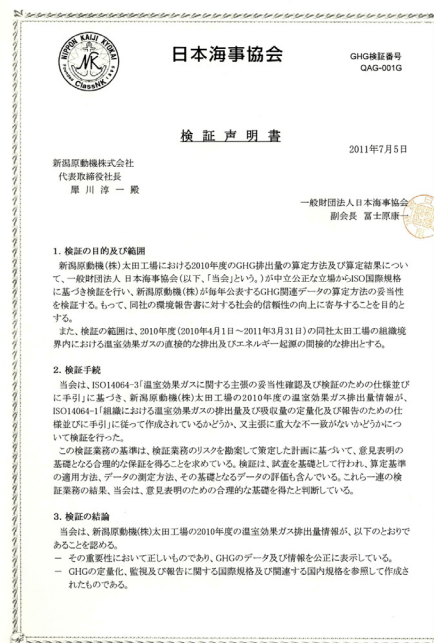


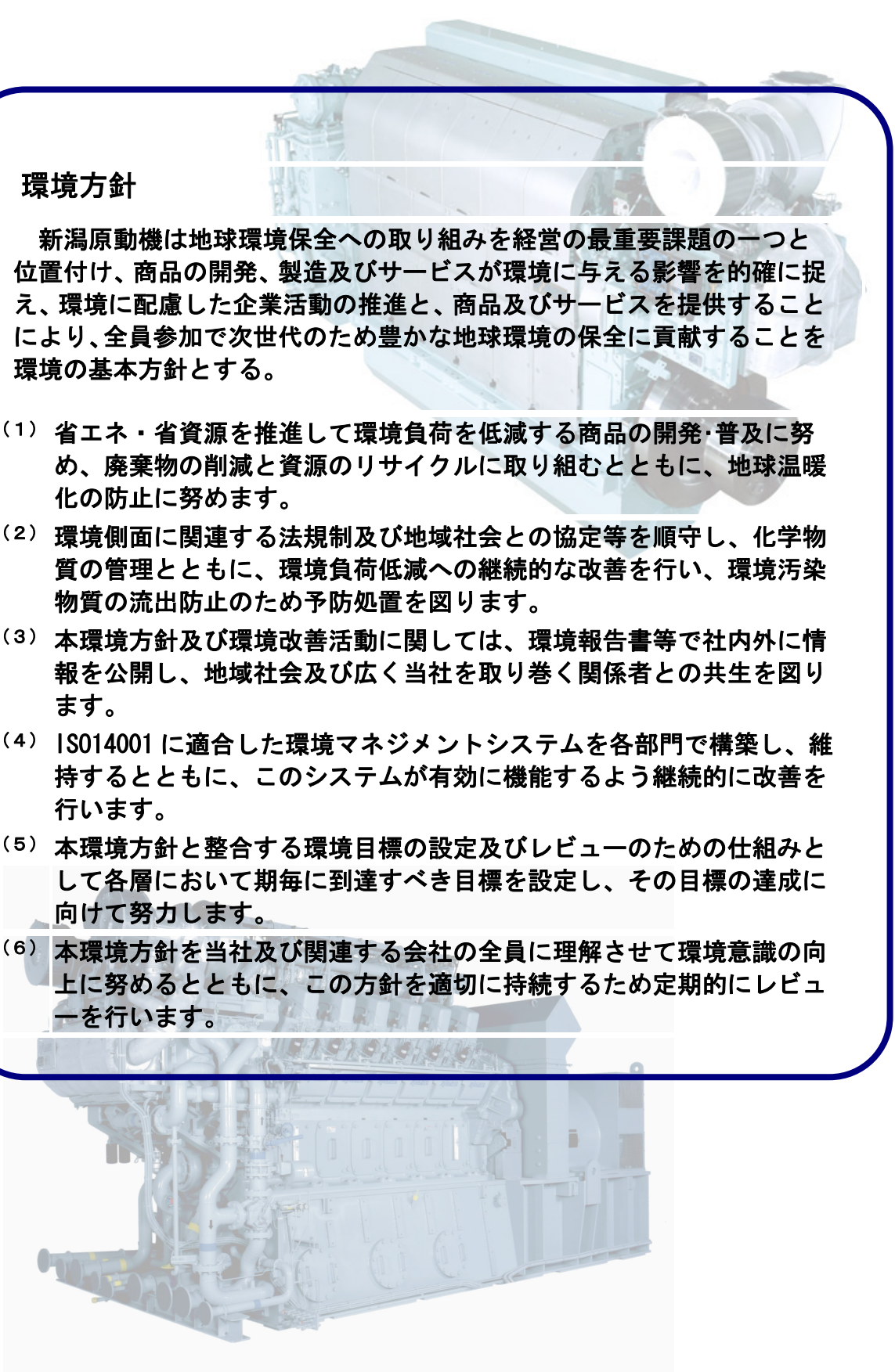
## 環境マネジメント

## 環境管理体制



太田工場は、この H22 年度の温室効果ガス排出量について、ISO14064-1「組織における温室効果ガスの排出量及び吸収量の定量化及び報告のための仕様ならびに手引」に基づき、手順書を作成し、温室効果ガス (GHG) 排出量の算定を行いました。これらの算定結果と手順書内容、及び現場施設の管理状態について、一般財団法人日本海事協会から、ISO14064-3「温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様ならびに手引」に従って検証を受け、ISO14064-1 に従った管理がなされていることの声明書を受領いたしました。





## 環境方針

新潟原動機は地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、商品の開発、製造及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した企業活動の推進と、商品及びサービスを提供することにより、全員参加で次世代のため豊かな地球環境の保全に貢献することを環境の基本方針とする。

- (1) 省エネ・省資源を推進して環境負荷を低減する商品の開発・普及に努め、廃棄物の削減と資源のリサイクルに取り組むとともに、地球温暖化の防止に努めます。
- (2) 環境側面に関連する法規制及び地域社会との協定等を順守し、化学物質の管理とともに、環境負荷低減への継続的な改善を行い、環境汚染物質の流出防止のため予防処置を図ります。
- (3) 本環境方針及び環境改善活動に関しては、環境報告書等で社内外に情報を公開し、地域社会及び広く当社を取り巻く関係者との共生を図ります。
- (4) ISO14001 に適合した環境マネジメントシステムを各部門で構築し、維持するとともに、このシステムが有効に機能するよう継続的に改善を行います。
- (5) 本環境方針と整合する環境目標の設定及びレビューのための仕組みとして各層において期毎に到達すべき目標を設定し、その目標の達成に向けて努力します。
- (6) 本環境方針を当社及び関連する会社の全員に理解させて環境意識の向上に努めるとともに、この方針を適切に持続するため定期的にレビューを行います。

## 環境マネジメント

## 環境目標

環境基本方針に基づき、生産部門においては生産活動における省エネや工数低減を主体に、前年度対比原単位当たりCO<sub>2</sub>-3%削減を環境目標に活動を展開しています。

また、本社・支店等の事務所部門においては、ムダエネルギーの排除、室内温度の適正化など環境意識の向上を図り、電気使用量1%削減目標で活動しています。

## EMS活動

## ●ISO14001審査

当社は、2001年9月にISO14001の認証書を取得して以来、半年毎に定期審査及び3年毎に更新審査を受けています。直近では、2010年12月に太田工場の生産センター、技術センター、カスタマーサポートセンター部品営業グループ及びプラント建設グループの定期審査が行われました。

当社では、今後2～3年の間に相当数の定年退職者が予想され、工場運営に必須の法的資格者について、問題ないか再点検をしておくよう提案を受けました。早速、環境管理会議で各工場の法的資格者を再確認し、不足部署に対し今後5年間の取得計画を作成して確認しました。



## ●品質・環境内部監査員教育

2011年度の品質・環境内部監査に対する監査員教育が期初めの4月、二日間に分けて実施されました。今年度はチームを指揮する管理者を七名新人監査員として登用し、ベテラン監査員とともに総勢22名で、監査員教育を兼ねながら、同時に監査を実施する方針としました。監査対象部署は、前回監査の結果を反映し工場部門及び重点監査部署を選択し、密度の高い監査を実施することとしました。監査員教育では、ISO9001及びISO14001の規格要求事項の内容を確認するとともに、監査員間での相互監査で追及のポイントなどを勉強しました。



写真 上:ISO14001 審査の様子(東京都小岩ポンプ場現場審査) 下:内部監査員教育の様子